古賀市公共交通共創プロジェクト

応募様式A

古賀市公共交通共創プラットフォーム

事業の基礎情報

実施主体	福岡県古賀市
事業実施地域	古賀市全域
共創の類型	官民共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	介護・福祉　観光・まちづくり
共創パートナー	株式会社古賀タクシー ・ 花鶴タクシー有限会社 ・ 市内行政区の自治会 ・ アプリ／運営事業者・地理情報システム事業者
運行形態	コミュニティバス ・ AIデマンド交通
運行主体	株式会社古賀タクシー ・ 花鶴タクシー有限会社

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

古賀市では、住民の高齢化により公共交通機関の需要が高まる一方で、運転手の不足や、乗車人数の減少による市の財政負担の増大、働き方改革による路線バスの減便が行われる等、その維持・確保は困難になりつつある。加えて、2025年には大規模な工場の建設完了も見込まれており、従業員の交通手段の確保のため、公共交通の再編が必要である。本プラットフォームでは、こうした状況に的確に対応するため、各公共交通機関および関連機関と協力し、需要調査や実証運行を通じて公共交通の拡充を行う。

（事業の概要）

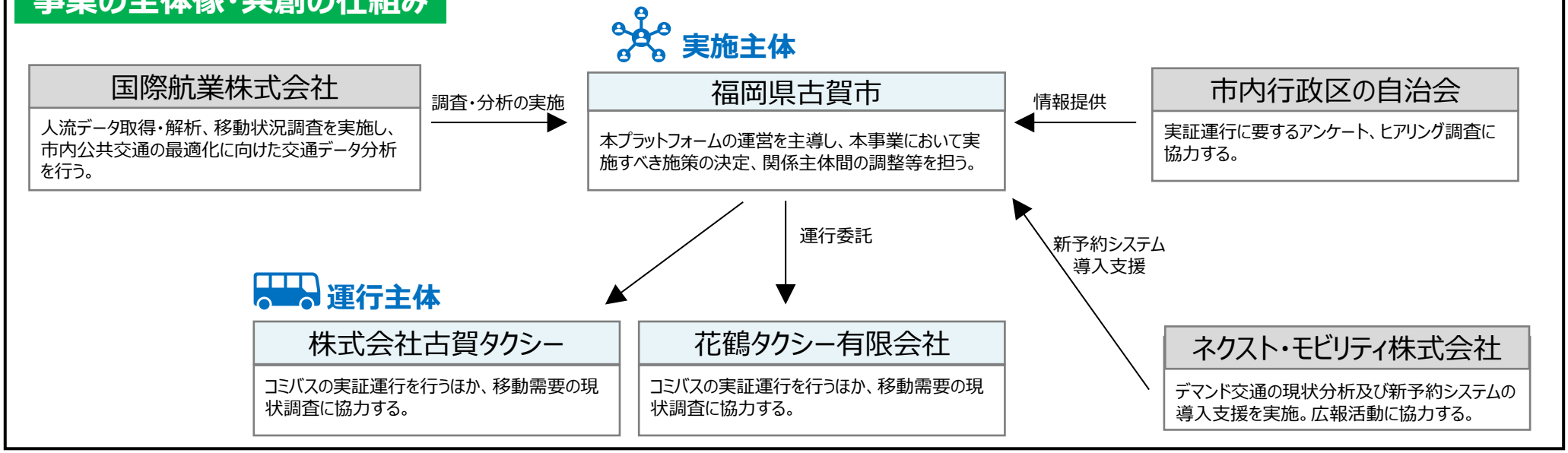
古賀市の交通課題に対応するため、AIデマンド交通のアプリ／システム事業者、市内のタクシー会社2社（株式会社古賀タクシー・花鶴タクシー有限会社 ）、地理情報システム事業者と連携し移動データの取得、アンケート、ヒアリング等を通して、市内公共交通最適化に向けたデータ分析を行う。また、小竹地区においては、コミュニティバスの実証運行を行い、これらの需要調査および実証運行の結果を踏まえ、他自治体への延伸等公共交通の拡充を進める。

古賀市公共交通共創プロジェクト

応募様式A

古賀市公共交通共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

（地域の関係者との連携・協働）

需要調査は、市内のタクシー事業者2社（株式会社古賀タクシー・花鶴タクシー有限会社）、市内行政区の自治会と協力し、アンケート調査、ヒアリング等の実施を通して行う。実証運行は、市内のタクシー事業者2社と協力し、小竹地区でコミュニティバスの運行を行う。実証運行を通じて得られたデータ、人流データを元に、コミュニティバスの効果・他社との比較結果を分析し、令和7年度以降の本格運行に向けた検討を行う。

（実証事業により見込まれる効果）

コミュニティバスの実証運行により、1日当たり16便の供給増加を見込んでおり、住民の移動ニーズを踏まえた効果的かつ効率的な公共交通の体系の最適化をめざす。
デマンド交通の新予約システム導入により、交通DX化を進める。

取組の詳細

（事業実施手順・スケジュール）

【需要調査】

● 現況調査・マッピング
・ 自治体の基本情報、公共交通機関の状況等を集約
・ 視覚的に分かりやすいよう、適宜マッピングを実施

● 移動データの収集
・ 現状の公共交通機関の利用状況を調査（乗降者数等）
・ 住民の方々の移動データを収集
・ 収集した移動データをもとに、住民の移動需要を分析

● アンケートの実施
・ 仮想的な需要の分析
・ 公共交通に対する住民の評価・需要の把握

【実証運行】
需要調査の結果を踏まえ、コミュニティバスを運行する。

	調査	実証運行
6-7月		運行準備 運行地域の確定
8-9月	アンケート/ヒアリングの実施	広報
10-1月	移動データの取得 データ分析	実証運行
2月		効果検証 実績報告

（補助事業実施後の予定）

本事業実施後においては、本事業を通じて得られた調査結果、知見に基づき、公共交通の拡充について具体的な取組を決定する。
コミュニティバスは、実証運行の結果を踏まえて改善を行い、新宮町まで延伸し本格運行を実施予定である。